書写指導員派遣事業

内

部局名

教育庁

課名

生涯学習・文化財課

課長名

中村忠嗣

区分

継続

経費区分

政策的経費

要求基準

事業主体 事業実施方法 補助率 福井県長期ビジョン における位置付け [解決すべき問題・課題	県 直営 一 分 野 [I 学びを伸ばす (人材力) 政 策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子ど []	事務 区分 □ □	自治事務 事業区分 法定受託事務 関連する県の計画等 [問題・課題を表す客観的・派遣リスト登録者 R2年		A	事業終了 予定年度 R6 (見直し年 R6 度) E R6)
[事業目的]	者リスト登録者の高齢化に伴う減少 して、書写指導員を学校に派遣し、児童・生徒の		名)		1 (P3司(: 00) C204	3. 701C1441.	0016.1
[事業内容] 書写教育の推進 (1)書写指: (2)書写指:		4名を派遣					
[受益者] 児童生徒・	教員		[想定される受益者数]				
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)			□ 無 ■ 有 事業名 (役割分担) 高校については、「新た活用	新たな部活動指導 とな部活動指導体制推		員課)を
市町との連携状況	・学校から出される申請・報告等のとりまとめを依頼。打れた情報などは市教委に提供。研修会には希望する教員も		他県の状況				

書写指導員派遣事業

区分							内	ŧ	吊名		教育庁		課名	生	涯学	習・文化	財課	課長名	中村	忠嗣
事業主	E体	県					古 改	■ 自	治 事	務		■ :	実行予算	事	業	H19	年度			
事業実施	方法	直営					事務区分				事業区分		補助金	開語	始	経過年数	ţ	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助		_						口 法5	定受託	事務			その他	<u>b</u> +	反	16	年	度)		
区分	事	業費	国	庫	起	債	そ(の他		一般	財源				国属	1、その作	也財源の	の名称等		
予算額		2, 69	95								2, 695									
[予算額の推	:移等]																		(単位:	: 千円)
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度					令和	口4年度	予算額	額の増減:	理由			
<u> </u>	初 予 算	額の推	移			2, 695	2, 695	2, 69	5											
2 月	現計予	算 額 σ.	推 移			2, 695	2, 695													
	決 算 額	の推移				2, 605														
主な増減 上の 上の 上の 上の 上の に成果指標等																				
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間	目標	最終目標			F	目標・	指標の	きえ方	▪積算根拠		
成果指標			(目標)															導技術の向上で は困難である。		めの事
活動指標	書写(書道サポートす					(70) 67	(70) 74	(70)	(70)	(70)	令和6	6年度まで	ご(こ350	校を目	目指す。				
[事業の評価							ı				ı									
	前年度の	実績・成:	果指標等の定量	也評価			実績を踏	まえた令和	14年度	の変	更点				ı	를	事業評価	<u> </u>		
 ・派遣校67校	: 338学級	1. 237時	· 間											拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
·書写指導員 ·書写研修会	派遣候補者	リスト登											= ;	継続		休止		完了		_
													□ 整	理統合		廃止		その他		

文化財指定促進事業

Ī	区分 継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁		課名	生涯学	習・文化財課	課長名	中村	忠嗣
Ī	事業主体	県			= 77	自 治 事	務		実行予算	事業	H26 年)	事業終了		
	事業実施方法	直営、補助			事務		事業区分	-	補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R6	年度
	補助率	県1/2				法定受託	事務		その他	年度	9 年	度)		
Ī	福井県長期ビジョン	分 野	〔 Ⅰ 学びを	伸ばす(人材力))	関連する	原の計画等	1	(福井県文化	財保友活	田士綱)	
	における位置付け	政 策	[1 夢と希望	を持ち、ふくいを愛する子	どもの育成]					州州江	/コンへ 州町		,	
	[解決すべき問題・課題	<u>[</u>]				[問題・課題	題を表す客観的	勺デー	-タ]					
		,,,,	~ m /	1		 •国重要式	大化,財指定数	7 福	ā井県114件	石川県	県134件 富∟	□県50件		
	県内の文化財の価値	付け、保仔、活	5用か十分行わ	れていない							石川県8件			
ŀ	 [事業目的]													
	県民の財産である	文化財を保存し	ノ、学校教育や	観光への活用を図る	るため、国指定	と等に向けた	た調査を推済	進する	5.					
ŀ	[事業内容]													
	〇国指定等に向け	た民族 古文書	建物等の調	杏										
	• 三田村家文書			<u>n</u>										
	• 大瀧神社文書	• 歴史資料												
	・戸祝い行事	等	Ē											
ľ						[想定され	しる受益者数]							
ŀ		■無						Пп	 無					
			業名							事業名	文化財保護審	議会		
		(実績)	×1. I			関連事業	業の有無・		(). 役割分担)		Z I D X I P N IZ II	H3A		
	前事業の有無・実績						割分担							
									県指定文化財	の指定に	ついて審議等る	を行う		
ŀ														
	市町との連携状況			査を実施するとともに	.、市町実施事業	他厚	見の状況							
	17-1 C V Æ D5 N/V	についても補助し	_ン て調査を進めて	いく。		16.21	(-) (/ / u							

文化財指定促進事業

区分	継続	経費[区分 政策	的経費	要求	基準	内	部。	局名	教育庁	Ī	課名	生涯学	習・文化	財課	課長名	中村	忠嗣
事業主 事業実施 補助 ^基	方法	県 直営、補 県1/2	助				事 務区 分		台 事 務 受託事務	事 業 区 分	■ 実行 ■ 補 □ そ	助金	事業 開始 年度	H26 経過年数 9	年度 女 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6	年度
区分	事業	 業費	国庫	Į.	起·	債	その	の他	一般	財源			国原	車、その作	也財源の	D名称等		
予算額		8, 041		2, 366						5, 675	国宝重要	更文化財等	≨保存・ 対	活用事業領	費補助金	金		
[予算額の推	移等]																(単位	: 千円)
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度				令和4年	度予算	額の増減	理由			
当	初予算	額の推	移	15, 469	11, 007	7, 281	6, 647	8, 041										
2 月	現 計 予	算額の	推移	7, 000	4, 182	6, 077		・戸祝い行	事の最終年	度報告書	計刊行によ	る増						
	2 月 現 計 予 算 額 の 推 移14,893決 算 額 の 推 移13,297					2, 171												
前年度ま 主な増減		·R元 調子·R2 調子	査完了による。 査完了による。 査完了による。 部調査廃止に。	减額(H30 减額(R元	大音家文語 小浜放生祭	書、今庄宿F 祭、三方石	町並み保存 観世音堂	対策 完了 完了)	')									
	找理由	·R元 調子·R2 調子	査完了による流	减額(H30 减額(R元	大音家文語 小浜放生祭	書、今庄宿F 祭、三方石	町並み保存 観世音堂	対策 完了 完了)	')									
主な増減	找理由	·R元 調子·R2 調子	査完了による》 査完了による》	减額(H30 减額(R元	大音家文書 小浜放生勢 大滝地区文	書、今庄宿F 祭、三方石	町並み保存 観世音堂	対策 完了 完了)	中間目標	最終目標			目標	指標の	考え方・	・積算根拠		
主な増減	の推移]	· R元 調3 · R2 調3 · R3 一名	を完了による。 を完了による。 部調査廃止に。	咸額(H30 咸額(R元 よる減額(大音家文書 小浜放生祭 大滝地区文 令和元年度 (10)	書、今庄宿6 祭、三方石宿 化財レベル	町並み保存 観世音堂 シアップ調?	対策 完了 完了) 査 廃止)		(10)	年ごとに件を目安	三実際の新	f規指定f	件数に多		・積算根拠 咸はあるが、!	具指定を	年間10
主な増減 [成果指標等 成果指標	の推移]	· R元 調3 · R 2 調3 · R 3 一 6 分	を完了による。 を完了による。 が調査廃止に。 は とは、 は とは、 は とは、 は とは、 は とは、 は は は は に は に は に は に は に は に は に は に	減額(H30 減額(R元 よる減額(平成30年度 (10) 12 (27)	大音家文章 小浜放生多 大滝地区文 令和元年度 (10) 1 (27)	書、今庄宿 学、三方石 化財レベル 2年度 (10) 14 (27)	町並み保存 観世音堂 シアップ調子 3年度 (10) 12 (27)	対策 完了 完了) 査 廃止) 4年度	中間目標	(10)	件を目安 文化財の	で指定を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	f規指定 進めて につい	件数に多れ いく。 ても、毎年	少の増減 少の増減 年同数で		査してい	
主な増減 [成果指標等 成果指標	が の推移] 区 文化財の新 文化財調査	· R元 調3 · R 2 調3 · R 3 一 6 分	を完了による。 を完了による。 部調査廃止に。 (目標) 実績	減額(H30 減額(R元 よる減額(平成30年度 (10) 12	大音家文章 小浜放生第 大滝地区文 令和元年度 (10) 1 (27)	書、今庄宿 学、三方石 化財レベル 2年度 (10) 14	町並み保存 観世音堂 シアップ調 3年度 (10)	E対策 完了 完了) 査 廃止) 4年度 (10)	中間目標 (10)	(10)	件を目安 文化財の	で指定を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	f規指定 進めて につい	件数に多れ いく。 ても、毎年	少の増減 少の増減 年同数で	はあるが、! を継続して調	査してい	
主な増減 「成果指標等 成果指標 活動指標 「事業の評価	成理由 の推移] 区 文化財の新 文化財調査] 前年度の記	・R元 調語・R2 調語・R2	を完了による。 を完了による。 を完了による。 が調査廃止に。 は は に は に は に は に は に は に は に は に は に	減額(H30 減額(R元 よる減額(平成30年度 (10) 12 (27) 46 的評価	大音家文章 小浜放生第 大滝地区文 令和元年度 (10) 1 (27) 28	書、今庄宿 学、三方石 化財レベル 2年度 (10) 14 (27)	町並み保存 観世音堂 シアップ調子 3年度 (10) 12 (27) 27	#対策 完了 完了) 查 廃止) 4年度 (10)	中間目標 (10)	(10)	件を目安 文化財の	で指定を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	f規指定 進めて につい	件数に多ないく。 ても、毎年ながるたる	少の増減 少の増減 年同数で	咸はあるが、! を継続して調? 数を維持する。	査してい	
主な増減 「成果指標等 成果指標 「事」の目標の目標の関係では、 「事」の目標の概では、 「の目のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	大理由 の推移] では、 文 文 文 前調し成神の が で が で が で が で が で で が で で で で で で で	・R元 調調 ・R2 ・R3 ー 新 ・ R3 ー 新 分 定 指 り の京 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 た く た く た く た く	を完了で廃止に、 を完了で廃止に、 を完けて、 を完けて、 を記されて、 をこされて、 をこされて、 をこされて、 をこされて、 とこされて、 とこされて、 をこさ、 とこさ、 とこさ、 とこさ、 とこさ、 とこさ、 とこさ、 とこさ、 と	減額(H30 減額(R元 よる減額(平成30年度 (10) 12 (27) 46 的評価 見指定件数、	大 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	書、今庄宿 等、三方石 (化財レベル 2年度 (10) 14 (27) 27	町並み保存 観世音堂 シアップ調子 3年度 (10) 12 (27) 27 実績を踏	#対策 完了 完了) 查 廃止) 4年度 (10)	中間目標 (10) (27) 4年度の変	(10)	件を目安 文化財の	で指定を対ける指定の調査件数を指定的な指定拡充	規指定で は につい こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	件数に多ないく。 ても、毎なながるたる 縮減	少の増減 年同数で め、同数	咸はあるが、! を継続して調? 数を維持する。	査してい	

福井の文化財緊急修理事業

四方 極初	在其色刀	以束的在复	安水基华	1/3	即同石	叙目厅	沐石	土涯子	百 人儿別妹	誌	ተ ነ	芯刪
事業主体	各市町		•	由攻	自 治 事	務事業	口 実行予算	事業	H27 年度	事業終了		
事業実施方法	補助			事 務		事業区分	■ 補助金		経過年数	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助率	事業費の1/6				法定受託	事務	□ その他	年度	8 年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 页 策		伸ばす(人材力) スポーツがふくいの活	〕 iカ 〕	関連する	県の計画等	┃ 〔 福井県文化	財保存活	用大綱)	
 [解決すべき問題・課題	<u>.</u> 頁]				[問題・課題	題を表す客観的 ⁻	データ]					
福井県の魅力を発 する恐れがある文化				と、また崩壊			§理を先延ばし 官・荻野家住宅		いる件数			
[事業目的]												
 歴史的魅力にあ 	ふれた文化財群	ヸを修理・整備 [・]	することにより、ネ	福井県の魅力	発信する手具	没として活用	する。					
[事業内容]												
 重要文化財のう	ち、崩壊の危機	となど緊急性の はなど緊急性の	高いものにかかる値	多理事業を支	援							
・柴田氏庭園 ・大安寺 ・西福寺	建造物半解	元工事、庭園植 解体工事(本堂、 解体工事(実施	、鐘楼組立)									
	X 2 10 1 11	+ r t · 二 · 子 · (入 // E i	KH 6 17/%/									
 [受益者]					[想定され	 ん受益者数]						
	■無						■無					
		業名						業名				
前事業の有無・実績	(実績)				関連事業 役割	業の有無・ 割分担	(役割分担)					
市町との連携状況					他県	の状況						
	ı											

福井の文化財緊急修理事業

区分							内	部	局名	教育庁	Ī	課名	生涯学	習・文化原	け課	課長名	中村	忠嗣
事業主	主体	各市町						■ 自	治事		□ 実行	行予算	事業	H27	年度	事業終了		
事業実施	施方法	補助					事 務区分			事業区分	■補	助金	開始	┃ 経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	事業費の	01/6					□ 法定	受託事		ロそ	の他	年度	8	年	度)		
区分	事	業費	国国	Ē	起	債	そ(の他	_	般財源			国	- 車、その他	財源σ)名称等		
予算額		29, 579								29, 579								
[予算額の推	移等]																(単位:	: 千円)
	区	分		平成30年度	元年度	2年度	3年度	4 年度				令和44	F度予算	額の増減	理由			
놸	首初 予 算	額の推	移	31, 664	32, 499	25, 499	19, 739	29, 579										
2 月	2 月 現 計 予 算 額 の 推 移 30,877 26,						19, 739		新規案件	増による補助	金交付件	数の増						
	2 月 現 前 ア 昇 額 の 推 移 30,877 20, 決 算 額 の 推 移 30,818 23,																	
主な増減 上 に成果指標等			業費減少によ。 助率調整によ															
	区	分		平成30年度	元年度	2年度	3年度	4 年度	中間目標	最終目標			目標	・指標の考	え方・	積算根拠		
成果指標	緊急修理が の総数に対 割合(%)	「必要な文化 対する補助作		(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100)	(100	(100)								
活動指標	補助金の多	5付件数	(目標)	(3)	(2)	(1)	(2)	(3)	(2	2) (2)								
70 30 10 10	1m 10) 32 07 0	2131130	実績	3	2	1	2											
[事業の評価		5 4 - 4 - 1	반 등 선 후 그 티	.L=T TT				<u> </u>						-4	- AUL == 1=	-		
	前年度の	実績・灰果	指標等の定量	的評価			実績を踏	まえた令和	4年度の	変更点				事	業評価	<u>ti</u>		
												拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
・市町から要 することによ			ヽては、予定と こ。(柴田氏庭			新規案件增	曾による補具	助金交付件	数の増			継続		休止		完了		_
												整理統	合口	廃止		その他		_

無形民俗文化財再生支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局	3名	教育庁	:	課名	生涯学	習・文化則	才課	課長名	中村	忠嗣
事業主		民間事業者	. 団体等		事務		自治	事	務事業		実行予算	尹木	R4	年度	事業終了 予定年度	5.4	
事業実施 補助		委託 一			区分		法定	受託事	事業区分務			/- 	│経過年数 │ 1	年	(見直し年 度)	R4	年度
福井県長期における位		分 野 政 策		申ばす(人材力) 幹線開業効果を最大化]	関	連する県	見の計画等	(福井県文作	上財保存活	用大綱		•)	
・保存会員																	
				価値観・生活様3 て、再生される民作			より無	形民俗	文化財の	呆存	・継承が難	しくなっ	ている中				
を図る。 (1)「再 (2)発表	生隊」の 機会の創む	ィネート役 & 募集・結成 出等の企画・ 観光資源とし	実施	ひとした再生隊が₁	企画立案し	し発	表機会	を創出	するなど、	無	5民俗文化	:財の地域	たのまちづ	i ()	や観光資源	としての	の活用

- | |事業主体…民間事業者、団体等|
- 事業実施期間…令和4年度
- 予算要求額…1,359千円 (一般)

[受益者] 無形民俗	文化財保存会	[想定される受益者数]	
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 無形民俗文化財活動支援事業 (役割分担) ・無形民俗文化財保存会を資金面で支援する補助事業制度 ・福井県無形民俗文化財保護協議会を事業主体とし、申請のあった各 保存会に上限200千円を補助する。
市町との連携状況	・再生隊と保存会とのミーティングへの出席 ・人的および物的支援 ・まちづくりや観光振興に向けた保存会活動への協力	他県の状況	

無形民俗文化財再生支援事業

区分	新規	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	内		部局名		教育庁	部	果名	生涯学	習・文化則	才課	課長名	中村	忠嗣
事業主	E体	民間事業	者、団体等					■ É	治事	事 務		■ 実行	于 予算	事業	R4	年度	事業終了		
事業実施	方法	委託					事務区分				事業区分	口補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_						□ 法	定受託	事 務		ロそ	の他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	国原	Į.	起	債	そ(の他		一般	:財源			国	- 車、その他	財源σ)名称等		
予算額		1, 359									1, 359								
[予算額の推	:移等]																	(単位	: 千円)
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	E				令和4年	度予算	額の増減理	曲			
当	前初 予 算	額の推	移					1,	359										
2 月	2 月 現 計 予 算 額 の 推 移																		
	2 月 現 計 予 算 額 の 推 移 決 算 額 の 推 移																		
前年度ままな増減	越理由																		
[成果指標等	:の推移」 区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	F 山田 問	目標	最終目標			日堙	・指標の考	ラち・	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		
成果指標	保存会活動	への参加人数)活動あたり	女 (目標)) 実績		月和九千及	2十戊	0十段	(110)				れた発表	等の活動	の会員 への会	数を100と	して基 リ増(1	準にする。1 10) の参加者		
活動指標	保存会の流(1団体あた		(目標) 実績					(9)				再生隊参 ×3本実			グ3回、計 9回以上	画や準	善備1日・祭	11日の	計2日
[事業の評価		=	北海ケの白目	44 = ± / ±			□ 4± + □k	+ : + /	10 4 F F	- O - T-	玉 ト				*	· ** === /T	T		
	前年度の	美額・成果	指標等の定量	的評価			実績を踏	まえた~	3和4年度	きの変.	<u> </u>			T		業評価	1		
													拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
													継続		休止		完了		
													整理統	合口	廃止		その他		

文化財継承基盤整備事業

区分 継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教	育庁	課名	生涯学	習・文化財課	課長名	中村	忠嗣
事業主体	県			± 75	■ 自治事	務	- 114	■ 実行予算	事業	R2 年度	事業終了		
事業実施方法	直営			事務		事 区	¥ 【 ② 分	口補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助率	_				□ 法定受託		- /,	□ その他	年度	3 年			
福井県長期ビジョン	分 野	[I 学びを	伸ばす(人材力))	明本士	1月の計画	ī ///-	「毎井県女ル	サルナエ			١	
における位置付け	政 策	〔 12 文化・	スポーツがふくいの活	in]		ら県の計画	守	〔福井県文化	別 体 行 心	用人裥		J	
[解決すべき問題・課題	<u>.</u>				[問題・課	題を表する	客観的デ	ータ]					
新型コロナウィルス	の感染状況によ	り、予定よりも	調査実績が下回って	いる。可能	な								
限り事業終了予定年度						₹和3年10	0日末眠	夏在文化財保	左 環 墙 状	:況調査件数 :	38件/約	500件	
く調査を実施する必要	きがある。ただし	.、今後の感染状 -	況により、事業終了	年度の延長	を '	л до Т	0/1/10		1 2426 17	70時五十級:	. 00 > ,,,	00011	
検討する必要がある。					ļ								
[事業目的]													
			化財を中心とした、									活かす。	ととも
に、調査結果を学校	教育等で活用す	「ることにより	、文化財への愛看、	. 保護意識(の醸成に努め	、文化財	すを次世	せ代に継承して	ていくた	めの基盤を整	怪備する。		
[事業内容]													
	D												
〇国・県指定文化													
・所在場所、所 ・文化財保存環													
人们的体行场	現仏が守り前は	± ग											
〇県指定文化財台	帳の更新・デシ	ジタル化、国指	定文化財台帳データ	タベースの	作成								
		7 10 10 1		,									
〇リニューアルホ	一ムページ「ネ	冨井の文化財」	の運用(令和3年)	4月稼働済	7 4)								
[受益者]					[想定され	いる受益者	汝]						
	■無							□無					
	┃	業名						■ 有 事	業名	福井県文化財保	呆護審議会		
	(実績)	×11. –			盟浦車	業の有無		(役割分担)		127.717.127.7			
前事業の有無・実績	()(1)()					果の有無で 割分担		(177)					
										調査には、福井	県文化財保護	審議会委	員等の
							Ė	学識経験者とと	もに実施	する。			
	┃ ☆ル財促方理培↓	+ 湿笙の調本にけ	可能が限りませんさ	・小田保護主営	5 - = 1								
			、可能な限り市町の文 現状、調査結果を共有		他則	具の状況							

文化財継承基盤整備事業

区分							内	剖	I局名	教育庁	į	課名	生涯学	習・文化則	才課	課長名	中村	忠嗣
事業主	E体	県						■ 自	治 事 務		■ 実	行予算	業	R2	年度	事業終了		
事業実施	拉方法	直営					事務区分			事業区分	口補			経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	————— 率	_						□ 法定	2 受託事務		□ そ	の他	F度	3	年	(兄旦し平) 度)		
区分	事	 業費	国国	į.	起	債	そ (の他	— Á				国国	i に、その他	財源σ)名称等		
予算額		1, 158								1, 158								
[予算額の推	 移等]		1			<u>'</u>			'		ı						(単位:	: 千円)
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度				令和4年月	麦 予算	額の増減理	曲		· · · · · ·	1.07
当	首初 予 算	額の推	 移			9, 412	1, 158	1, 158	3									
2 月	2 月 現 計 予 算 額 の 推 移						828											
	2 月 現 計 予 算 額 の 推 移 決 算 額 の 推 移								_									
前年度ま 主な増減 	越理由	令和2年度	要から令和3年	:度の減は、	ホームペ-	-ジリニュ	ーアル完了	'による減。 										
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標			目標	・指標の考	え方・	積算根拠		
成果指標	指定文化則数		実績			(100) 100	(100) 100	(100)	(300)	常時整備	調査文化	と財の件数分	かを台巾	長整備(テ	゙゙ジタル	レ化)		
	国·県指定数	☑文化財調፭	を作 (目標) 実績			(34) 22	(139) 30	(139)	(250)	(500)	調査対象	食文化財の総	8数約5	500件を5:	か年で	調査		
[事業の評価		5/4 4 8	北 [44 = T / TT			-	L - 1 A -		L				+	- علاد = - ا	-		
	前年度の	美績・灰果	指標等の定量	的評価			実績を踏	まえた令札	14年度の変	更点			1	- 事	業評価	<u> </u>		
・令和3年4 公開。 ・令和3年度			レホームペーシ _{ま:30} 件	ジ「福井の?					率化を図り	つつ、事業な	年度			縮減 		終期の見直し	見直	し額
	ウィルスの	感染状況0	D影響を受け、		〈必要の	の延長を想	思定する必!	要がある。			-			廃止		その他		-

社会教育関係団体活性化事業

区分 継糸	経費区分 政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯 生	営・文化財課	課長名	中村	忠嗣
事業主体	社会教育関係団体		事務	自 治 事	務事業	■ 実行引	事業	R3 年度	事業終了 予定年度		
事業実施方法	補助		区分		事業区分	■ 補助	/- 	経過年数	アルギ及 (見直し年	R5	年度
補助率	1/2			法定受託	事務	□ その	他年度	2 年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け		、を伸ばす(人材力) ^{6望を持ち、ふくいを愛する子}	〕 ・どもの育成 〕	関連する	県の計画等	〔福井県	教育振興基本	計画)	
[解決すべき問題・課				[問題・課題	頭を表す客観的 ⁻	データ]					
	等により地域のつながりに対する 団体が衰退。それにより、生活に				の会員数を 100	とする。					
域課題の解決等の地域	の社会教育機能が低下。団体活動	カ活性化に向けて、地域信			の会員数 57.3	※団体年の	仝 昌数をH21.	と比較した割合の	亚杓值		
くなるような魅力的な [事業目的]	教育プログラムの開発や活動の周	知が必要。		1 2 0 7 "	一	公団体帯の	女貝奴で11210	上比較した副日の	一 切但		
1	· *** ***	H. I 1801		10.	上儿丶士瓜为。	<u>+ ++ </u>		* 		<i>₽</i> 1+ 4 - 4	#L * * *
	€教育関係団体(以下、「団 は活動が活性化することによ			して、十と	もから尚断石	よで様々ん	で代の地域	以仕氏にSDGS達	及に回げた	多様な	双育の
[事業内容]		7、地域の社会教育	CILLET TO								
	系団体がSDGsの達成にむけが SBJはの活動プログラフォリ			· + 🖽 kn							
	系団体の活動プログラムをリ 宮等と社会教育関係団体が連				淫費を社会物	查 関係団仂	に支給				
	3 4 6 6 6 7 7 7 8 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7										
ノエチーが悪ノエ	上世 の1 /0) ゝ										
<活動支援費(活動 	別質の1/2) <i>></i>										
参加者(人)	5動支援費(千円)										
① 1 ~19	60□										
220~39 340~	7 5 □ 9 0 □										
340.	900										
[受益者]				[想定され	ん受益者数]						
	無無					■無					
	□ 有 事業名					口 有	事業名				
前事業の有無・実績	(実績)				業の有無・ 割分担	(役割分担)				
				1又 i	到力性						
		-±5									
市町との連携状況	→市町に事業の周知、協力を依→団体、市町担当者および公民	· ^秧 :館関係職員(社会教育士:	を含む)等で、ヤ	青 他県	の状況						
	報交換会を実施										

社会教育関係団体活性化事業

区分	区分 継続 経費区分 政策的経費 事業主体 社会教育関係団体						内	部	局名	教育庁	課	名生	涯学	習・文化財	才課	課長名	中村	忠嗣
事業三	主体	社会教育	育関係団体					■自	治 事 務		■ 実行	予算	業	R3	年度	事業終了		
事業実施	施方法	補助					事務区分			事業区分	■ 補 助	カ金 開	始	経過年数		予定年度 (見直し年	R5	年度
補助]率	1/2						口 法定	受託事務		□ その	n 他 ^年	度	2	年	度)		
区分	事	業費	国国	Į.	起	債	<i>そ</i> (の他	一 舟	段財源	国庫、その他財源の名称等					2名称等		
予算額	予算額 3,592 予算額の推移等]									3, 592								
[予算額の推	推移等]			_													(単位:	千円)
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
븰	当 初 予 算	額の推	移				3, 946	3, 592										
2 月	月 現 計 予	算額の	推移				2, 564		事業実績に	こよる申請見	込の減							
	決 算 額	の推移							-									
前年度 主な増減 上な増減 正成果指標等	咸理由																	
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標			目標・	指標の考	え方・	積算根拠		
成果指標	団体会員数	女	(目標)		57	53	(52)	(51)	(51)	1 1	10年前の国	会教育機能 団体の会員 業により、	数を1	00とすると	とR5の	会員数は40.1	Pと予測	される
活動指標	活動数		(目標)				(50)	(50)	(50)	(50)	団体が希望		館等と	∸連携して	数容は			
[事業の評価	#1		実績				12		(00)		- III	望した公氏	, μμ ν, υ		· 以 日 /	古動を行った勢	效	
												望した公氏	, AL 1, C				数	
今年のたませ	前年度の		美領 指標等の定量	的評価				まえた令和				望した公氏			業評価		数	
	前年度の に に に 前年度の に が に に に に に に に に に に に に に	7:12件					実績を踏		4年度の変	更点		拡充			業評価		見直	し額
	前年度の に に に 前年度の に が に に に に に に に に に に に に に	7:12件	指標等の定量				実績を踏 の情報共有		4 年度の変 団体の交流					事	業評価	Б		し額 354

子どもの読書活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育厅	 方	課名	生涯学	習·文化財課	課長名	中村	忠嗣
事業主任	本	県				自 治 事	務		実行予算	事業	H15 年度	事業終了		
事業実施力	方法	直営			事務		事業		補 助 金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助率	<u> </u>	_				法定受託事			その他	年度	20 年	度)		
福井県長期ビにおける位置		分 野 政 策		申ばす(人材力) を持ち、ふくいを愛する∃	〕 子どもの育成 〕	関連する	県の計画等)読書活動推進計	画	J				
[解決すべき問	題・課題]					[問題・課題	を表す客観	的データ	!]					
		自主的に読書	書を楽しむ児童	の割合が低い		ふだん読書 小学校:23	. –	-			、高校:45.	8% (R2)		
[事業目的]														
子どもか	が自主的に	本に親しみ、	みんなで読書る	を楽しむ環境づく「	りのために、	家庭、地域、	学校にお	いて子	・どもの読む	書活動を	推進する。			
[事業内容]														
〇福井県子	子どもの読	書活動推進会	≩議の開催		0.	産科のある症	病院と連携	し、絵	本講座を問	開催				
〇同年代に	に読書の楽	しさを伝える	る「ジュニア司書	書」を養成	0	教職員や子と	ごも読書ボ	ランテ	ィア向けの	の研修会	を開催			
〇幼稚園教	收諭、保育	士向けの研修	§会を開催											
〇成長段階	皆に応じ選	定した推奨図	図書の普及啓発	等										
[o.#						7 〒 ** +/ ** 1	<i>//</i> L <i>a</i>	0.7.1					
[受益者](O 歳~高校生 					し思定され	る受益者数]		3万人					
	[■ 無 □ 有 事 (実績)	業名			阳生去	# o + fm		無 有 引 と割分担)	≨業名				
前事業の有無	・実績	(大順)					業の有無・ 割分担	(1)	(司力197					
										4816 53	N1 0=+=====	\#\#\===\\	# 	=1 === :
市町との連打	隽状況 •	市町教育委員会	€と協力して推奨図	書の選定を実施		他県	の状況	を定		道府県が、	どもの読書活動の 子どもの読書活 。			
									· - - - - - - - - -		- 0			

子どもの読書活動推進事業

区分	継続	経	費区分 政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	教育庁	部	果名 生	涯学習	・文化財	才課	課長名	中村:	忠嗣
事業主事業実施 補助	地方法	直営					事務区分		台 事 務 受託事務	事 業 区 分	□補	助金開	業始終	H15 経過年数 20	年度年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6	年度
区分	事業	費	国国	Į.	起	債	そ(の他		対源	·)名称等					
予算額		3, 75	59							3, 759								
[予算額の推奨	· 移等]					·											(単位:	千円)
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度				令和4年度	予算額	の増減理	曲			
놸	当初予算额	額の推	移	694	792	3, 077	4, 475	3, 759										
2 月	月 現 計 予 須	算額の	推移	694	792	3, 077	4, 475			を紹介した記 リーステイ					を休止	 		
	決 算 額(の推移	,	684	2, 154		, , , ,	, ,,,,	(□ □ μι)	-/40, 2 (2)		1317 F.NC		_				
前年度ま 主な増減	t H H	131 (例年の事業予算 例年の事業予算 第3次福井県子	に、第3次	福井県子ど	もの読書活	動推進計画	画の策定のた	めに予算増	加								
	R COO F	131 (例年の事業予算	に、第3次	福井県子ど	もの読書活	動推進計画	画の策定のた	めに予算増	л а								
主な増減	R COO F	131 (例年の事業予算 第3次福井県子	に、第3次 どもの読書 	福井県子ど	もの読書活	動推進計画	画の策定のた	めに予算増	加 最終目標			目標・፧	指標の考	え方・	積算根拠		
主な増減	が理由 FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF	分	例年の事業予算 第3次福井県子	に、第3次 どもの読書 	福井県子ど 活動推進計 令和元年度 279	もの読書活	動推進計画う新事業実	頭の策定のた 関施のため予	めに予算増 算増加	最終目標 (325)	子どもの	読書を普及を						
主な増減 [成果指標等 成果指標	の推移] 区	H 3 1 (R 2)	例年の事業予算 第3次福井県子 (目標) 実績 (目標)	に、第3次 どもの読書 平成30年度 (200) 279 (10)	福井県子ど 活動推進計 令和元年度 279 229 (10)	もの読書活画策定に伴 2年度 (325) 272 (28)	動推進計画 う新事業実 3年度 (325) (28)	でである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	めに予算増 算増加 中間目標	最終目標 (325)		読書を普及を	啓発する	る講座を対	対象と ⁻	する		
主な増減 [成果指標等 成果指標	の推移] 区 講座等の参加	H 3 1 (R 2)	例年の事業予算 第3次福井県子 (目標) 実績	に、第3次 どもの読書 平成30年度 (200) 279 (10)	福井県子ど 活動推進計 令和元年度 279 229 (10)	もの読書活 画策定に伴 2年度 (325) 272	動推進計画 う新事業実 3年度 (325) (28)	で で で で が が が が が が が る が る の た め う る の た め う る く の た の た る く く く く く く く く く く く く く く く く く く	めに予算増 算増加 中間目標 (325)	最終目標 (325)			啓発する	る講座を対	対象と ⁻	する		
主な増減 [成果指標等の 成果指標 活動指標	の推移] 区 講座等の参加	H 3 1 (R 2)	例年の事業予算 第3次福井県子 (目標) 実績 (目標)	に、第3次 どもの読書 平成30年度 (200) 279 (10) 14	福井県子ど 活動推進計 令和元年度 279 229 (10)	もの読書活画策定に伴 2年度 (325) 272 (28)	動推進計画 う新事業実 3年度 (325) (28)	で で で で が が が が が が が る が る の た め う る の た め う る く の た の た る く く く く く く く く く く く く く く く く く く	めに予算増 算増加 中間目標 (325) (28)	最終目標 (325)			啓発する	る講座を対 る講座を対 る講座を対	対象と ⁻	する		

「白川文字学」普及活動事業

│ 区分 │ 継続	5	経費区分	な 【 全	策的経費	要求基準		内		部局名		教育庁		課名	生涯学	'習・文化!	け課	課長名	中村忠	总嗣		
事業主体		 県							自 治 事	務			実行予算	事業	H17	年度	事業終了				
事業実施方法		直営					事 務 区 分				事 業 区 分		補 助 金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R6	年度		
補助率		_							法定受託	事 務			その他	年度	18	年	度)				
福井県長期ビジョン		分 野	(Ι 学びを値	申ばす(人材力))	即士士?	· 旧 の=	-1 //-	_	与 4. 旧 */- *	# @ + + -	I ===		•				
における位置付け		政 策	(1 夢と希望	を持ち、ふくいを塗	愛する子	どもの育成)	関連する	県の記	计画寺		福井県教育	振興基本語	十画			J			
[解決すべき問題・課題	頁]								[問題・課題	夏を表す	す客観的デ	ータ]								
									「一般の部						L		<i></i>				
県内の白川静漢字教	育	賞への応募	專者数σ)減少							2回64点、	第2	2回69点、	第4回/2	点、第5	回69点	、第6回66点	、第/四	<u>1</u> 38		
									点、第8回	10只											
[事業目的]																					
白川静博士が平成16								推進し	してきた本	事業に	は、令和	3年	度で17年を	を迎えた	。これま	こでは!	学校教育を「	Þ心に推	進を		
図ってきたが、今後	は、	、生涯学習	習におい	ヽて白川文 *	字学を学ぶ場	を提供	きする。														
[事業内容]																					
人以大点类 类工事	- 414																				
白川文字学普及事 ①「白川文字学		ここの問題																			
②「白川文字学) 開催 (親-	子書道数字 :	生主と	1.1 「わた	-1.0	カ漢字』展:	を会ま	••)										
③「白川静漢字)	, 自定放主、.	X 0 1	0. 1971			е µ ч	,										
④県内外におけ				引した出前	講座の実施																
[受益者] 児童生徒	• 教	員							[想定され	んる受益	益者数]										
		無											無								
		有	事業名										有 事	事業名							
******	(実績)							関連事	業の有	無•	(役	割分担)								
前事業の有無・実績										割分担											
市町との連携状況		Ⅲ文字学□	に関する	ス出 前 謙 広	を児童館や公	足的力	かどで宝サ	车	4h IE	人の状況	뮤										
川町との圧汚れル		ハスナチ	〜 大 ソ 〜	り田川神圧	こん主語 でム	人伍	みこし天 //	i C	旧出分	C 0 7 1 / 1)	/L										

「白川文字学」普及活動事業

区分	継続	経費	区分 政策	策的経費	要求	基準	内	ŧ	8局名		教育庁		課名	生涯等	学習・文化	財課	課長名	中村紀	忠嗣
事業主	E体	県						■ 自	治 事	務	site		実行予算	事業	H17	年度			
事業実施	拖方法	直営					事 務区分				事業 区分	□ ネ	補 助 金	開始	経過年数	攵	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	_						口 法5	定受託	事 務	- "		その他	年度	18	年	度)		
区分	事	業費	国	起	債	その他		一般財源					国	庫、その何	也財源の	D名称等			
予算額		1, 505	5								1, 505								
[予算額の推	移等]																	(単位:	千円)
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度					令和4年	度予算	額の増減	理由			
<u> </u>	当初予算	額の推	移	11, 286	9, 699	1, 742	1, 506	1, 50	5										
2 月	見現計予	算額の	推 移	11, 386	6, 902	931	1, 606		事務費	の減									
	決 算 額	の推移		9, 927	5, 874	672													
前年度ま 主な増減 上 に に に に で で で で で で で で で で で で で で で	越理由	را غ	:会議協議事 :て実施した :も漢字教室	ことによ	る減額		当におい	(日川又	子字を	字か [‡] 	場を提供 [・] 	するこ 		た、 責	手 与指導。	貝派道	事業は他事	美 	
	区	分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間	目標	最終目標			目標	・指標の	考え方・	• 積算根拠		
成果指標	「白川静淳 集数	莫字教育賞」	応募 (目標)	(10, 000) 12, 476	(10, 000) 10, 369	(500) 580	(500) 386	(500) (500)							∓間500人を目: 500人を目指す		令和3
活動指標	漢字学習諱	構座等の充 足	_{] [本} (目標)	(10, 000) 12, 974	(10, 000) 3, 061	(12) 11	(100)	(100) (100)							2回開催を目指 充足率100%を		令和3
[事業の評価		- 4-					 /	L = 1 A =								+ w = - r	-		
	前年度の	実績・成果	:指標等の定量	的評価			実績を踏	まえた令和	日4年度	の変更	点				-	事業評価	#		
令和2年度は	「白川静漢字	字教育賞」中	中止										口 拡充	-	縮減		終期の見直し	見直し	し額
・白川文字学・白川文字学	こども漢字		3回実施 8回実施			各種講座は 開催時のコ ら、オンラ)状況を踏	まえて、	講師と	:も相談しフ	なが	□ 継続		休止		完了		1
・県内外にお・集まれ!「			19回実施 3回実施										□ 整理統	合口	廃止		その他		•

こども歴史文化館魅力向上事業

	区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	 教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村	忠嗣
	事業主体						自 治 事	務	■実行予算	事業 R4 年度	事業終了		
	事業実施方法	法	直営			事務区分		事業区分	口補助金	□ ずえ	予定年度 (見直し年	R4	年度
	補助率		_				法定受託事		□ その他	年度 1 年	(兄回し牛		
	福井県長期ビジ における位置の		分 野 政 策		申ばす (人材力) を持ち、ふくいを愛する∃	〕	関連する	県の計画等	〔 福井県教育	振興基本計画)	l
Т	[解決すべき問題	・課題]					[問題・課題	を表す客観的テ	<u>-</u> ータ]				
	新型コロナウィ 数が過去3年間			更新が行われてい	ハない等の要因から	ら年間入館者	過去3か年 H30年度	三の来館者数技 麦 40,275ノ		度 31,197人 R2	年度 19,	841人	
	[事業目的]						•						
	小中学生など(上を図る。	の来館者	fがタブレット	〜端末を活用し [−]	て本県の歴史や文化	比などを楽し∂	りながら展え	示観覧できる	システムを構	築することにより、こ	ども歴史文	化館の射	魅力向
	[事業内容]												
	・来館者が ・Wi-fiアク	本県の歴	史や文化など	所設置(1F:	を整備 ら学習できるシス ⁻ 1 箇所、2F:4	テムを構築 箇所、3F:							
							し応圧で10	る文価有数」	1 = 4m.				
	前事業の有無・	I		業名				業の有無・ 割分担	■ 無 □ 有 (役割分担)	事業名			
	市町との連携		5町教育委員会に 動き掛け	対し、小中学校の	校外学習や遠足などに	こよる団体利用を	他県	の状況	マとした教育機	·目的に、子どもたちを主た 接関は全国にほとんど例がた :手県)、金沢市(石川県)	にい。		

こども歴史文化館魅力向上事業

区分	新規						内	部	3局名	教育庁	彭	果名	生涯学	習・文化則	才課	課長名	中村	忠嗣
事業3	主体	県						■自	治事		■ 実行	⁻ 予算	事業	R4	年度	事業終了		
事業実施	————— 拖方法	直営					事務区分			事業区分	口補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助]率	_						┃ □ 法定	受託事:		ロそ	の他	丰度	1	年	度)		
区分	区分 事業費 国庫					≧債 その他			_	般財源			国厂	車、その他	財源σ)名称等		
予算額										5, 206	6							
[予算額の推	[額の推移等]																(単位	: 千円)
	区 分 平成30年度 令和元年						3年度	4年度				令和4年原	度予算	額の増減理	曲			
1								5, 206	3									
2)	月 現 計 予	算額の	 推 移						1									
	決 算 額	の推移							1									
前年度 主な増減 上な増減 	或理由																	
[/%/K]				平成30年度	今和 元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	票 最終目標			日樗	- 指標の者	え方・	 · 積算根拠		
成果指標	区 分 平成30年度 令和元年度 成果指標 利用者数(人) (目標) 実績					2-1-12	01/2	(40, 000)			(中間目:	標) H29~F 標) 中間目 よび企画展	R1の平:	· 匀 展示閲覧:	システ	 ムの稼働によっ	 る校外学 [:]	 習の来
活動指標	(回数)	た小中学校	E数 (目標) 実績					(50)	(6	5) (80)	() I I I I I I I I	標)H29~F 標)現在の						
[事業の評価			北海林。十二				☆ /± -	<u> </u>							- AME = T 1-			
	前年度の	美績・成果	指標等の定量	的評価			実績を踏	皆まえた令和	4年度の	发 更点				事	業評価	t		
												拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
												継続		休止		完了		_